

るんです。皆さん何とかしなきゃと考えていたんだなと思います。それに、少しずつ殺処分数が減り、譲渡率が10%になったという発表がありますが、あれは保護団体さんによる引き出しが増えたからだということをお忘れはいけません。国や行政が出来ない部分を担っているのだから、もっと手厚い支援があっただけいいと思いますね。

**O.B.** 何とかしなきゃ！という気持ちがある形になっているんですね。

**藤村** そうですね、私には何も出来ないという方が多いですが、出来ないと言ってしまくと、やらないということになりますから、まずは行動しよう！と思うことですね。積極的に話し合うとか、フリーマーケットをやって売上げを寄付するとか、希望している物を団体に送ることでいいと思いますので。肩肘張らずに、気軽に楽しみながらやってみるということですね。保護犬を預かることについても、今のように1人が10匹、20匹一時預かりをというのはかなりの労力ですよ。でも1匹預かるだけなら、出来るという人も多いと思うんです。そうやって保護犬が身近な存在にもなっていけばいいなと思います。そうなれば、引き取るという人も増えるんじゃないでしょうか。また、殺処分の問題がテレビや雑誌で取り上げられたり、署名が多く集まったからといって国の仕組みは変わらないんです。だから楽観しないで11年の改正の行方を見守って欲しいと思います。また、法律を変えるということは政治家に動いてもらわないといけませんので、まずは私たち国民が声をあげ続けることしかないと思うんです。これだけ国民の間で意見が上がっているんだということが、国を動かすことに繋がるのだと思います。

**O.B.** 最後にメッセージをお願いします。

**藤村** 人と犬との共生に必要なのは、「知・徳・体」だと私は思います。「犬を知りしつけする・命を尊ぶ道徳心を持つ・犬と一緒に運動し健康的な活動をする」、この3つが相互作用すること。これこそ共生社会の実現ですよ。ほかにも不妊、去勢をして飼うこと、知識の薄い素人による繁殖を決してしないこと。動物病院では乱暴な繁殖が原因で先天性の病気を患った犬を多く看護しました。彼らは苦しい障害を抱えたまま一生を過ごさなければなりません。そういう犬たちが飼育放棄されてしまったら・・・と考えると、一人ひとりが意識を持って行動していくこと。今日それがどれだけ出来たかによって、明日は必ず変わっていきます。愛のある判断と行動で、この状況を変えていきたいですね。



藤村さんが参加する写真展が開かれます。

「ペットは家族 一生一緒」"Together Forever"フォトメッセージ展

日程：2010年3月29日～4月4日

場所：NHKふれあいホール（東京都渋谷）

藤村さんの著書『小さな渡り鳥と黒牛のロッキー』（文芸社）が好評発売中です。

WEBサイト NO LOVE ,NO EARTH .COM  
<http://www.nolove-noearth.com/>



- VOL.20 四川真我さん
- VOL.25 橋本志穂さん
- VOL.24 白井京音さん
- VOL.23 野中ともよさん（後編）
- VOL.22 野中ともよさん（前編）
- VOL.21 長谷川理恵さん
- VOL.20 水野裕子さん
- VOL.19 柏木由紀子さん
- VOL.18 白石美帆さん
- VOL.17 蒼井里紗さん
- VOL.16 堀越歩さん
- VOL.15 佐藤貴紀さん
- VOL.14 Kayokoさん
- VOL.13 金子絵里さん
- VOL.12 千野志麻さん
- VOL.11 名取裕子さん
- VOL.10 松本秀樹さん
- VOL. 9 ERIさん
- VOL. 8 岸本芭瑠美さん
- VOL. 7 郡司ななえさん
- VOL. 6 瓜生真砂巳さん
- VOL. 5 石黒謙吾さん
- VOL. 4 テーブ大久保さん
- VOL. 3 古閑美保さん
- VOL. 2 吉川ひなのさん
- VOL. 1 槇原敬之さん



あなたがONEクリックすると、協賛企業からの募金のうち10円をDonation（寄付・貢献）することができます。

name

e-mail

※携帯電話のメールアドレスはお控えください。